

## 予備戦（県事務局案）実施についてのアンケート結果

## 1 アンケート結果（数字）

	北信		東信		南信		中信		計
	部長	監督	部長	監督	部長	監督	部長	監督	
賛成	2	12	9	9	8	11	11	16	78
反対	19	12	8	6	11	9	3	3	71
保留	4	2	1	2	7	6	4	1	27
棄権	3	2	1	2			2	1	11
計	28	28	19	19	26	26	20	21	187

## 2 各種意見

《反対の場合、どのようなシード制を希望するか。》

- ・春季予選会のベスト4を秋季予選会のシードとする。
  - ・参加が任意では、強豪校が辞退した場合予備戦の意味がない。
  - ・予備戦を継続し、県大会16校を支持するので、県大会24校に決まった以上シード戦の必要なし。
  - ・地区毎のシード決定が良い。
  - ・前シーズンの秋季大会、春季大会、選手権大会を点数化する。
  - ・春のベスト4、夏の上位校をシード。
  - ・ポイント制。夏の選手権優勝チームが10ポイント。準優勝チームが8ポイント。ベスト4の2校が6ポイント。ベスト8の4校が4ポイント。ベスト16の8校が2ポイント。同点の場合は春の県大会結果をポイントとして加算する。
  - ・各支部4グループに分けて、その中でリーグ戦を行う。シードを目指し複数試合ができる。
- (案1) 以前の東信のように地域によってリーグを作る。(上小リーグ・佐久リーグ)
- (案2) 最近5年間(春季秋季合計10大会分)の県大会出場回数を参考にバランス良くリーグを作る。
- ・敗者復活戦採用。日程的には平日も使わないといけませんが、球場を増やすなどの対応を検討する。
  - ・会長理事長が強いと思うチーム・県大会に出てほしいチームをシードすれば良いと思います。

《反対》

- ・もともとシード制は不要。(8人)
- ・何を狙っているのか見えて来ない。どんな成果が出たら予備戦やシード制が成功であったのか、具体的なものが語られていないと思う。だから反対としか言えない。
- ・まず、予備戦への参加について任意とすることについては反対。任意とした場合、いろいろな理由や思いで不参加とする学校が出て来る。シード決めの試合については、新チームの大切な時期でもあるので、シードを決めるという目的と、チーム作りを進めるという目的のために行っていくべきものとする。したがって、リーグ戦での決定を希望します。各支部の学校数に応じて4校～8校シードを決めるリーグ戦を行う。1つのリーグが4校程度になるように組分けすれば、3試合行えばシード校を決められる。
- ・32校での県大会でなければ今まで通りの予備戦を実施した方が良いと思います。(ただし、「期日については柔軟に対応する」ということには賛成です。)

《その他》

- ・甲子園出場校は県大会から出場。
- ・審判員を出来れば4名配置していただけると、加盟校グラウンドで行った場合もスムーズに実施できる。
- ・シード制が前提ならば、意味のある予備戦の形式を提案していただきたい。  
任意参加×、期日も統一、予備戦対戦校と予選1、2回戦で再度当たるなども不可。
- ・もしもやるならば、5位、6位のシード決定戦もやるようにする。
- ・反対の数が多いのにも関わらず、強行するのはいかがか。

《結論》

賛成多数により、事務局案（修正案）承認